

令和5年度

市出資法人

団体自己評価（自己評価シート）

団 体 名：有限会社 大山田ファーム

所管部課名：産業振興部 農林振興課

団 体 名	有限会社 大山田ファーム	[企業会計用]
-------	--------------	---------

【経営基本情報】

○団体の基本情報

所 在 地	三重県伊賀市平田103番地				
H P ア ド レ ス	http://nouringyo.or.jp				
電 話 番 号	0595-47-0151	F A X 番 号	0595-47-0244		
代 表 者	取締役 小野 元治	設 立 年 月 日	平成14年4月1日		
市 所 管 部 等	産業振興部 農林振興課	市 出 資 額	3000 千円	市 出 資 割 合	74.1 %
団 体 の 目 的	農業・林業の経営、農作業の受託				

○主な事業内容

[事業規模]

(単位:千円)

事 業 名	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	備 考
(1) 農業の経営	72,173	73,950	79,862	
全事業合計に占める割合	93.12%	85.05%	87.91%	
(2) 農作業受託	4,622	4,935	4,699	
全事業合計に占める割合	5.96%	5.68%	5.17%	
(3)				
全事業合計に占める割合	0.00%	0.00%	0.00%	
(4) (1)～(3)以外の事業	709	8,064	6,284	
全事業合計に占める割合	0.91%	9.27%	6.92%	
全事業合計	77,504	86,949	90,845	

[事業の概要]

- (1) 稲作、転作作物の栽培及び収穫
- (2) 農作業受託

○財務概況

(単位:千円)

		令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
正味財産増減計算書	売上高 (a)	76,796	78,885	84,561
	売上原価 (b)	52,512	54,344	62,932
	販売費・一般管理費 (c)	25,166	26,918	23,950
	営業損益 (d) = (a) - (b) - (c)	△ 882	△ 2,377	△ 2,321
	経常損益(営業損益+営業外収益-営業外費用)	△ 190	5,637	3,836
	当期純損益(経常損益+特別利益-特別損失-法人税等)	△ 263	484	2,960
貸借対照表	資産	44,973	49,189	72,658
	負債 (e)	28,032	31,764	52,272
	資本金(基本金) (f)	4,050	4,050	4,050
	剰余金(累積欠損金)等 (g)	12,891	13,375	16,336
	純資産 (h) = (f) + (g)	16,941	17,425	20,386
	負債・純資産合計 (i) = (e) + (h)	44,973	49,189	72,658

団体名	有限会社 大山田ファーム	[企業会計用]
-----	--------------	---------

○財務に関する主な指標

	指 標	計 算 式	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
安定性	自己資本比率	純資産／(負債＋純資産)	37.67 %	35.42 %	28.05 %
	流動比率	流動資産／流動負債	0.00 %	0.00 %	154.36 %
	借入金依存率	借入金残高／(負債＋純資産)	30.08 %	38.72 %	25.26 %
収益性	売上高営業利益率	営業利益／売上高	△ 1.15 %	△ 3.01 %	△ 2.74 %
	総資産経常利益率	経常利益／資産合計	0.42 %	11.46 %	5.28 %
効率性	人件費比率	人件費／売上高	21.56 %	32.48 %	27.77 %
	管理費比率	販売費・一般管理費／売上高	32.77 %	34.12 %	28.32 %

○役職員の状況 (※派遣職員は含まない)

	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	備 考
常勤役員	2 人	2 人	1 人	R5平均年齢: 47.0 歳
うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R5平均年収: 5,760 千円
常勤正規職員	2 人	2 人	3 人	R5平均年齢: 39.3 歳
うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R5平均年収: 3,670 千円
その他職員	11 人	13 人	23 人	
うち市退職者	0 人	0 人	0 人	

○市からの財政的支援など (単位:千円)

	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
委託料			0
補助金・助成金			0
負担金			0
借入金(期中に借り入れた額の合計)			0
その他市支出金(追加出資額等)			0
計	0	0	0
借入金残高(期末残高)			0
債務保証額(期末残高)			0
損失補償限度額			0
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)			0

○団体の目標達成状況等

●中・長期経営計画の策定の有無

有	■	計 画 期 間	令和5年度～令和9年度	策定予定時期	令和10年4月
無	□				

●中・長期経営計画による目標及びその達成状況

目 標	経営面積100.0ha. 生産量(水稻300.0t、小麦21.0t、大豆19.5t、菜種4.5t) 作業受託50.0ha.
実 績	経営面積85.0ha. 生産量(水稻270.0t、小麦10.0t、大豆18.0t、菜種4.0t) 作業受託35.0ha.

●年次事業計画による達成目標

令和5年度 目標	経営面積90.0ha. 生産量(水稻270.0t、小麦15.0t、大豆19.0t、菜種2.0t) 作業受託45.0ha.
令和5年度 実績	経営面積89.5ha. 生産量(水稻265.7t、小麦10.0t、大豆13.0t、菜種0.9t) 作業受託45.1ha.
令和6年度 目標	経営面積96.0ha. 生産量(水稻280.0t、小麦15.0t、大豆13.0t、菜種1.6t) 作業受託45.0ha.

団 体 名	有限会社 大山田ファーム
-------	--------------

団体自己評価結果

- A(90%～100%):良好な事象や傾向がみられる
 B(60%～89%):やや良好な事象や傾向がみられる
 C(30%～59%):改善を要する
 D(0%～29%):大いに改善を要する

	比 率	評 価
目 的	89 %	B
事 業	82 %	B
経営計画	73 %	B
経営状況	86 %	B

団体自己評価表

1. 目的に対する評価

	比率	89 %	評価	B	回 答 欄
1 団体の目的は現在でも社会的要請があるか					①
2 民間企業等が事業の実施主体となることは不可能か					②
3 市との役割分担を踏まえ、団体で実施するメリットがあるか					①
4 事業内容は目的に対し意義・効果が認められるか					①
5 団体が設定している目標は、目的や行政目的の達成に寄与する指標となっているか					①
6 社会経済状況に応じ経営改善に取り組んでいるか					①
7 市民に対し情報公開・情報提供しているか					②

2. 事業に対する評価

	比率	82 %	評価	B	回 答 欄
1 団体の事業全体について、成果は十分に上がっているか					①
2 事業毎に目標を設定しているか					①
3 目標の達成状況を評価・活用しているか					①
4 顧客ニーズ及び顧客満足度を把握しているか					①
5 顧客からの問い合わせ、意見等への対応は適切か					①
6 内部統制は十分に実施されているか					②
7 危機管理体制は十分に整備されているか					②
8 組織体制は十分に整備されているか					②
9 管理費比率及び人件費比率は適正か					②

3. 経営計画に対する評価

	比率	73 %	評価	B	回 答 欄
1 経営基本方針等を定め、役員・職員に浸透しているか					①
2 中長期経営計画を策定し、運用しているか					①
3 外部環境、経営資源を把握、評価し、中長期経営計画に盛り込んでいるか					②
4 中長期経営計画と実績との差異を分析し、計画を見直しているか					①
5 年次事業計画と実績との差異を分析し、改善しているか					②
6 中長期経営計画、年次事業計画は市の方針を反映したものとなっているか					④
7 計画目標達成のため、人材育成・能力開発を行っているか					①
8 計画の実施にあたり、進捗管理の体制が十分に整備されているか					②

4. 経営状況に対する評価

	比率	86 %	評価	B	回 答 欄
1 収支の状況は健全であるか					①
2 累積欠損金が発生していないか、債務超過ではないか					①
3 財務基盤についての指標は適正か					①
4 収益における市への依存度は適正か					①
5 総資産当期経常増減率は適正か					①
6 開発用不動産等及び有価証券等の含み損益を把握しているか					①
7 債権管理は十分か					①
8 借入金返済は可能か					②
9 基本財産や運用財産を適正に運用しているか					①
10 必要な額の特定期間（引当金）が設定されているか					④

※ 回答 ①＝5点 ②＝3点 ③＝1点 ④＝0点とし各部門ごとに比率を算出しています。

比率＝(合計点)／(総回答数×5点)×100

団 体 名	有限会社 大山田ファーム
-------	--------------

《団体自己評価コメント》

目 的	設立目的が依然、社会的に求められている。
事 業	団体の事業全体については、目標を設定し、目標どおりの成果を上げている。
経 営 計 画	令和10年度までの中・長期経営計画を策定し、目標どおり実施されている。
経 営 状 況	収支の状況について、借入金があるが財政基盤についての指標は正確で健全である。
総 括 コ メ ン ト	大山田農林業公社の農作業部門を担うため設立された団体であり、今まで公社の支援をもとに十分な実績を上げてきた。今後も地域にとっては必要不可欠の団体である。しかし、設立当初の自治体からの出資をもとに運営されてきているが、今後、出資金については見直しの必要がある。

【市の審査及び評価結果】

空白：団体自己評価結果と概ね同じ評価

＋：団体自己評価結果に比べて高く評価（良好な点が認められる）

－：団体自己評価結果に比べて低く評価（課題が認められる）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令 和 5 年 度 コ メ ン ト
目 的	団体自己評価	A	B	B	公益事業である農地所有者代理事業は、農業者の高齢化により事業目的に対する要望は年々増加している。
	市の評価	＋	＋	＋	
事 業	団体自己評価	B	B	B	団体の事業全体については、成果が上がっていると考ええる。
	市の評価	＋	＋	＋	
経 営 計 画	団体自己評価	C	C	B	経営計画の目標どおりに事業を進めていると思われる。しかし、事業範囲が大山田地区に限定されていることや生産条件不利な耕作困難地が増えていることが課題である。
	市の評価	－		＋	
経 営 状 況	団体自己評価	B	B	B	資材価格の高騰や、燃料費の値上げなど、昨今のコスト上昇により厳しい経営環境が続いているが、当期純利益は前年度比247万円の増となり、健全経営が続いている。
	市の評価	＋	＋	＋	

《市の総括コメント》

地域農業は今後も高齢化・過疎化により就農者の減少や担い手不足による厳しい状況が続いていくことが予想されています。農業者に対する集中的、重点的支援が進められるなか、小規模・兼業農家等と役割分担のうえ相互に連携を図り、当該法人を中心とした農業構造の確立に向け、経営体質の一層の強化を図られたい。